

第55回 先延ばししたことは、だいたいやらないで終わります・・・

我々コンサルタントは、経営者対象にセミナーをすることがあります。それなりに実現可能性の高そうな内容を、わかりやすく説明しているつもりですので、お聴きになっている経営者は、「なるほど、これはわが社でも採り入れよう！！」とかお思いになることも多いはずですが。しかし、多くの場合、やろうと思っただけで実行はされずに、時は過ぎてしまいます（×_×）。

なぜでしょうか？ すぐに実行しないからです。経営者も社員さんも、みんな目先のことと忙しいので、新しいこと・緊急性のないことを始めるのはどうしても後回しになります。そうしているうちに、セミナーの配布資料は封筒に入れたまま、忘れられてしまいます。

仕事以外でも、後回しにしたことはだいたいやらずに終わります。ちなみに私も、ハイデッカーの『存在と時間』をいつか読もうと思っているのですが、先送りにしてしまっています。たぶん、一生読めないでしょう。

では、どうしたらよいのでしょうか？

一番いいのは、やろうと思っことは「直ちに」検討を開始し、実行することです。組織として行うことであれば、直ちに企画・提案することです。直ちにはできなければ、「繁忙期が終わった後の〇月〇日に会議に諮る」など具体的に決めて、書いて貼り出すとか、カレンダーに記入するとか、公式に宣言することです。

「工賃向上」のためには、日常業務にはない新しいことを、順次実行してゆく必要があります。多忙を言い訳にしているのは、いつまでも先送りでしょう。

人生のタイムリミットは、日々迫っています。その中でやるべきことはやるために必要なのは、「直ちに着手する」ことです♪。